

平成27年度 年間指導計画

教科・科目	情報・社会と情報	学年	1学年	教科書	数研出版「高等学校 社会と情報」
		単位数	2単位	副教材	実教出版「ポイントでマスター 基礎からはじめる情報リテラシー Office2010対応」

学習目標	コンピュータや情報通信ネットワークの活用を通して、基礎的な情報リテラシーや情報モラルの習得、および情報の適切な収集・処理・発信する能力を身につけることを目標とする。
------	--

学習方法	○授業では、コンピュータを利用した実習や課題などを行う。利用マナーを学び、遵守して取り組む。 ○コンピュータを利用した実習の他に、ワークシートを利用した形式の学習で基礎知識を吸収する。 ○グループワークや個人発表を行う際は、積極的に参加する。
------	---

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨			
	a	関心・意欲・態度	コンピュータネットワークを利用する上でのマナーを守りつつ、自らの力で積極的にコンピュータを活用した課題や授業に取り組んでいるか。情報社会に参画する態度が身についているか。			
b	思考・判断・表現	情報の取捨選択と処理活用をする方法や情報発信において、情報モラルを踏まえた適切な考えや判断をして活用することができるか。				
c	技能	コンピュータネットワークやワークシートを利用した課題、およびグループワークや発表などにおいて、学習した技能を適切に活用して表現することができるか。				
d	知識・理解	コンピュータネットワークにおける基本的な仕組みや情報技術に関する基礎的な知識、および情報モラルの知識などがしっかりと理解できているか。				

※ 定期テストに関しては、上記四つの観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。

学期	内容のまとめ	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
1	情報とメディア	情報通信技術の発達	アカウントと利用マナー 日本語入力と文書作成	○			○	a:コンピュータ利用のマナーとアカウント重要性を順守して取り組んでいる。 c:日本語入力や文書作成実習において、基本的な技能が習得できる。 d:コンピュータ利用のマナーとアカウント重要性を理解している。	・観察 ・課題 ・実技テスト ・期末テスト
		コンピュータのしくみ	コンピュータの構成、ハードウェア、ソフトウェア	○	○		○	a:コンピュータのしくみを意欲的に学習している。 b:ハードウェアとソフトウェアの分類ができる。 d:コンピュータの構成の理解している。	
1	デジタル情報と情報の活用1	情報の表現と伝達1	表現の工夫(文書)					b:様々な文書作成実習において、適切な思考と判断ができる。 c:様々な文書作成実習において、適切な技能と表現ができる。 d:表現の工夫の仕方について理解している。	・観察 ・課題 ・実技テスト ・グループワーク ・期末テスト
		情報の表現と伝達2(いのちの尊重に関する教育)	表現の工夫(表計算)					a:実習において、主体的かつ意欲的に適切な態度で取り組んでいる。 b:実在のデータを読み取り、それがどのような情報であるのか、どうしてそのようになるのかを考え、表現できる。 c:表計算ソフトの実習において、適切な技能を身に付けている。 d:表計算ソフトにおいて基礎的・実践的な知識を身につけている。	
2	情報通信ネットワーク	インターネットの仕組みと活用	インターネットの仕組みと電子メールの活用					b:ネットワークや電子メールに関する実習において、適切な思考と判断ができる。 c:ネットワークや電子メールに関する実習において、基礎的・実践的な知識と技能を身につけている。 d:インターネットと電子メールについて適切な知識を身につけている。	・観察 ・課題 ・実技テスト ・グループワーク ・期末テスト
		情報セキュリティの確保	情報セキュリティ、コンピュータウイルス					b:情報セキュリティに関して、適切な思考と判断ができる。 d:情報セキュリティに関する基礎的な知識を身につけている。	
2	情報社会と情報モラル	情報社会における法と個人の責任	知的財産権、個人情報					a:法規に関して主体的、意欲的に取り組んでいる。 d:法規に関して基礎的な知識を身につけている。	・観察 ・課題 ・プレゼン ・期末テスト
		情報システムと人間	プレゼンテーション					a:情報社会における問題点に関する情報を主体的、意欲的に収集しようとする。 b:プレゼンテーション実習において、適切な思考と判断ができる。 c:プレゼンテーション実習において、適切な技能を	
3	望ましい情報社会の構築	情報システムと人間	プレゼンテーション	○	○	○		a:情報社会における問題点に関する情報を主体的、意欲的に収集しようとする。 b:プレゼンテーション実習において、適切な思考と判断ができる。 c:プレゼンテーション実習において、適切な技能を	・観察 ・課題 ・プレゼン ・期末テスト

(参考様式)

デジタル情報と情報の活用3	アナログとデジタル	アナログとデジタル、情報のデジタル表現				c: アナログとデジタルの両方に対応した表現ができる。 d: アナログとデジタル、情報のデジタル表現に関する知識を身につけている。	
---------------	-----------	---------------------	--	--	--	--	--